

平成28年度大田区障がい者実態調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成30年度からの次期おおた障がい施策推進プラン（大田区障害者計画・第5期大田区障害福祉計画・大田区障害児福祉計画・大田区発達障がい児者支援計画）を策定するにあたり、基礎資料を得ることを目的として実施。

(2) 調査対象・調査件数

区内在住の障がい者、区内でサービスを提供している事業者を対象に、3種類の調査票を作成して調査を実施。

- ① 18歳以上調査：障害者手帳所持者等 4,500件
 - ② 18歳未満調査： // 1,500件
 - ③ サービス事業者調査：指定障害福祉サービス事業者等 200件
- ※詳細な内訳は、報告書P3～4を参照

(3) 調査期間

平成28年11月29日～12月22日

(4) 調査方法

郵送発送・郵送回収

(5) 回収結果 ◆有効回収数 772件up、回収率 1.9%up

調査種別	発送数 (A)	有効回収数 (B)	回収率 (B÷A×100)
① 18歳以上調査	4,500	2,308	51.3%
② 18歳未満調査	1,500	665	44.3%
③ サービス事業者調査	200	123	61.5%
合計	6,200	3,096	49.9%

※百分率 (%) の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示
 ※前回回収結果 (25年度) : 4,839件発送、2,324件回収 (回収率48%)

2 調査の実施にあたって (変更点等)

(1) 調査対象・調査件数の拡充

- ◎調査件数の拡充 (前回)4,839件⇒(今回)6,200件 (1,361件の増加)
- ◎障害者手帳を持っていない方・発達障がい児者のニーズ把握
 - 自立支援医療受給者証 (精神通院) 所持者の追加
 - 通所受給者証所持者 (障害児通所支援利用者) の追加

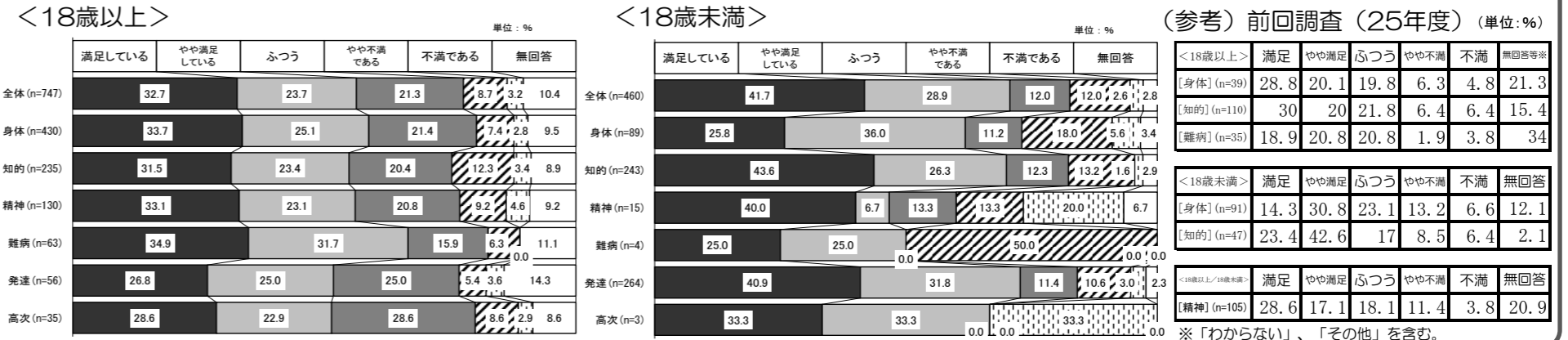
(2) 調査票の見直し

- ◎選択肢の見直し (選択肢の数を減らす等、回収率向上のための工夫)
- ◎新規項目の追加
 - 障がい者総合サポートセンターに関すること
 - 障害者差別解消法に関すること など

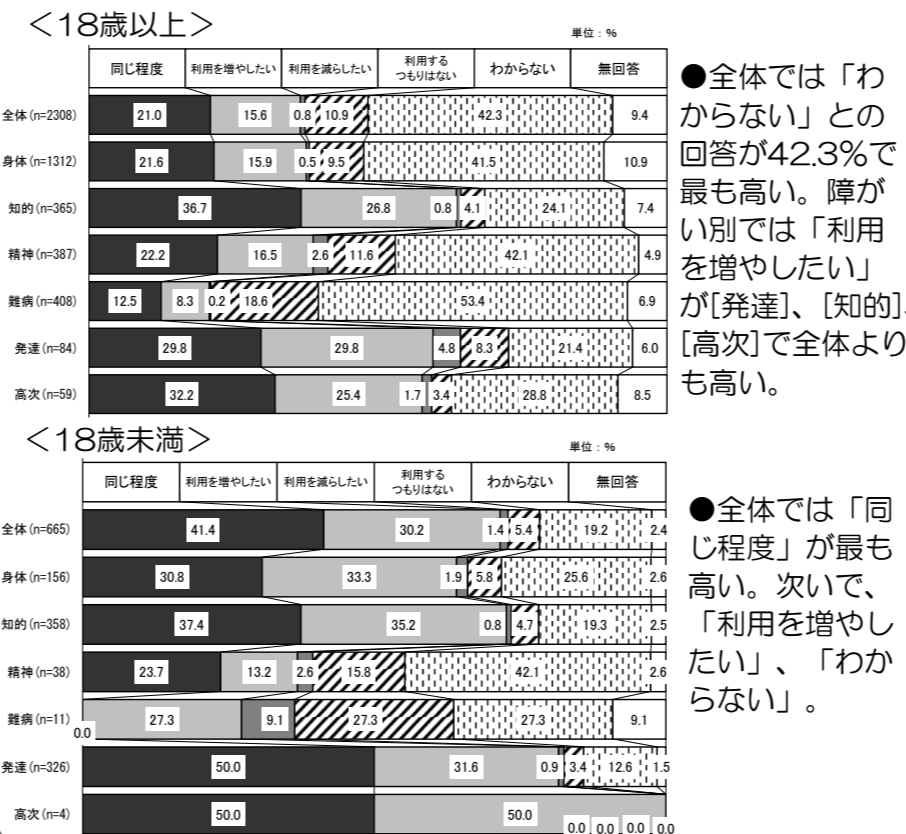
3 調査結果 (報告書より一部抜粋)

【18歳以上・18歳未満調査】 ※調査結果の詳細は、報告書P13～139を参照

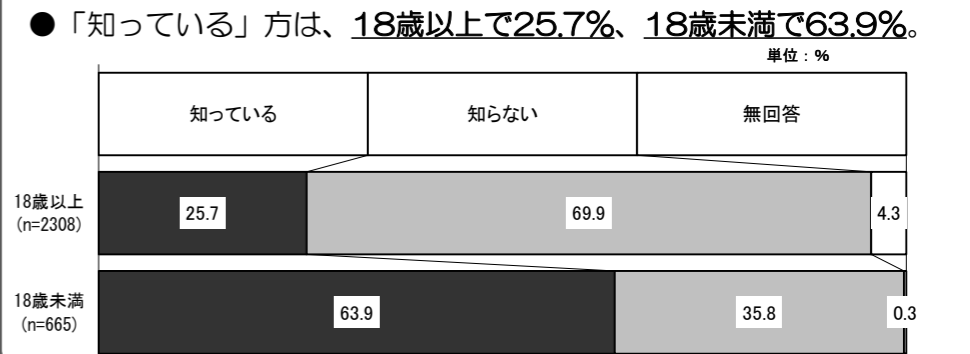
○サービス利用の満足度 (報告書P64～69) ●『満足している層 (満足・やや満足)』は、**56.4% (18歳以上)**、**70.6% (18歳未満)**



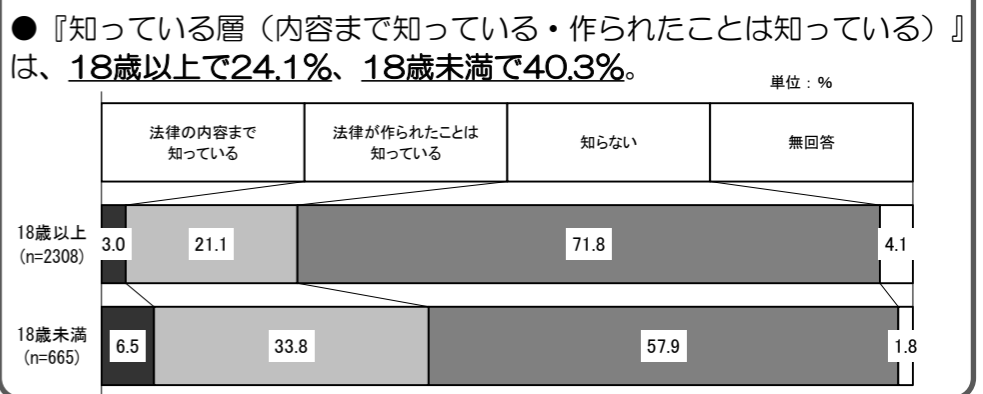
○今後のサービス利用意向 (報告書P74～79)



○ヘルプカードの認知度 (報告書P84)



○障害者差別解消法の認知度 (報告書P93)



【サービス事業者調査】 ※調査結果の詳細は、報告書P143～164を参照

○今後提供予定のサービス (報告書P148)

(n=123)	回答事業所数	利用できる人数の合計 (人)
居宅介護	2	5
同行援護	2	3
生活介護	3	55
就労継続支援B型	1	20
短期入所	1	10
共同生活援助 (グループホーム)	4	22
相談支援事業	4	0
児童発達支援	1	10
放課後等デイサービス	5	40

○新サービスの実施予定 (法改正で取り組む予定のサービス) (報告書P149)

